

『動物微生物検査学』 正誤表

以下のように誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

43 頁 表 1-10 TLR が認識・結合する微生物の成分

誤 (表中すべての) TRL

正 (表中すべての) TLR

65 頁 右段 3～4 行目

誤 日本でも生物テロに対する対策,「結核予防法」の問題点解消等のため,「伝染病予防法」...

正 日本では,「伝染病予防法」...

65 頁 右段 8～9 行目

誤 その後,「感染症法」の改正が行われ,一種病原体等から...

正 その後,生物テロへの対策として病原体等の管理強化のために,2007年の「感染症法」の改正時に,一種病原体等から...

65 頁 右段 16 行目

誤 これらは病原体ごとに BSL が法的に定められている。

正 これらは病原体ごとに管理基準等が定められていて,これを満たすために病原体保有機関で BSL が定められている。

189 頁 左段 10～15 行目

誤 また,ヒトの感染症が動物に感染し,ヒトに再感染する場合があります,これをヒト由来動物感染症 (anthropozoonosis) と呼ぶ。類人猿を含むサル類に感染する赤痢,ポリオ,麻疹,ウイルス性肝炎および宿主範囲の広いヒト型結核がその例である。

正 (削除)

190 頁 右段 9～10 行目

誤 高病原性鳥インフルエンザ (H5N1, H7N9) などが問題である。

正 高病原性鳥インフルエンザなどが問題である。

190 頁 右段 30～32 行目

誤 また,重症急性呼吸器症候群 (SARS) や中東呼吸器症候群 (MERS) の病原ウイルスもコウモリ由来と考えられている。

正 また,重症急性呼吸器症候群 (SARS) の病原ウイルスもコウモリ由来と考えられている。中東呼吸器症候群 (MERS) は,コウモリからウイルスゲノムが検出されたラクダからウイルスが分離されているが,自然宿主は確定されていない。